

## 環境省インターンシップを終えて

物理学専攻 博士課程 2年 高山正行

2018年1月18日(木)～31日(水)の2週間、私は環境省の総合環境政策統括官グループの環境影響評価課でのインターンシップに参加させていただいた。

このインターンシップでは、現在の環境影響評価制度の課題と解決方針を、日々の調査・分析を通じて検討した。職員の方々が実際の業務の様子を生で見ることができ、また私が疑問にも大変分かりやすく丁寧に答えて頂くなど、非常に多くの刺激を受け充実した2週間だった。

日本における再生可能エネルギーの割合は今後増えていく一方、新たな太陽光・風力発電施設の設置にあたり、事業者には環境や住民への適切な配慮が求められる。そのためにも事業者や行政、住民が様々な視点を持つことで互いに歩み寄り、互いの利益を最大化できる手法を模索するということが非常に重要で、そして大変難しい課題でもあることを私は認識した。このインターンシップで得た経験や考え方を是非とも私自身の今後のキャリア形成に活用していきたい。